

## 1. 現在及びこれまでどんな仕事をしてきたか、またその思い

途中転職の機会があったものの、新卒での就職から今日に至るまで一貫して、調達・製造・物流工程の改善・オペレーションを担当して来ました。より競争力の有るサプライヤーの選定・製造工程や物流網の改善・オペレーションプロセスの策定が主な仕事です。

新卒では、トヨタ自動車に就職し、調達本部に配属され、HMI 部品（運転席周りの電子部品）の調達を担当しました。調達では一人一人の担当者が 300 億円近い部品の発注権限を持ち、各部品の製造を委託する発注先を選定します。より競争力のある仕入先に発注を行うことが求められると同時に、発注の切り替えは時によって多くの仕入先・下請け会社に大きな影響を与えるため慎重かつ多面的な検討が求められました。仕入先の雇用を守るために何が出来るのか、自社のクルマをより良くするために何が出来るのか、新卒の若手社員も含む一人一人の社員に考えさせる姿勢は流石「世界のトヨタ」だと感じました。

その後、機会を得て転職し、現在は P&G の物流部門にて勤務しています。P&G では物流管理を外部業者（3PL）に委託しているため、主に協力会社との協業の中で、工程改善や物流網の再検討を、また新規の拠点立ち上げに際してはオペレーションプロセスのセットアップを行うことなどが仕事です。若い年次からチームリーダーやプロジェクトマネージャー業務を経験する機会を得られる環境や、一人一人に明確な目標が与えられ結果にコミットすることを求められる風土は外資系企業特有のものかもしれません。日々の業務に刺激と自身の成長を感じながら、忙しくも充実した日々を過ごしています。

## 2. 後輩就活生へのアドバイス

人生 100 年時代が叫ばれ、多様な働き方が求められるようになった後の世代に充たる皆さんは、もしかしたら我々の世代がそうであった以上に、旧来の終身雇用から離れた働き方を求められるようになるかもしれません。何となく就職をして、何となく定年まで働くということが難しくなるなかで、とりわけどんな経験と専門性を積み重ねて自分のキャリアを構築するかということ自分の頭を振り絞って考えることが求められるようになると思います。

きっとほとんどの就活生の皆さんは今、昔の私がそうであったようにどうやって「よい良い会社」に入るかを必死に考えているところだと思いますが、「より良い会社に入る」ために何をするかを考えると同時に、「より良い自分のキャリアを描く」ために何が出来るかを考えることにも是非時間を割いてみてください。仮に今答えが出なかったとしても、その考えた時間が人生の節目で、自分らしい選択を手助けしてくれることと思います。

神戸大学には六甲台就職相談センターの相談員の方々を初め、多種多様なキャリアを歩まれた方々がいらっしゃいます。ぜひ積極的に色んな方の話を聞いてみることをお勧めします。私も学生時代には、「(お忙しい社会人の方に) 急に連絡をするとご迷惑じゃないだろうか。」と気を揉むこともありましたが、自分が社会人になって 4-5 年経つと、大学の後輩が OB 訪問で訪ねて来るというのは存外嬉しいことなのだ気付きます。ぜひ礼儀正しく、でも遠慮はせずに色んな方のもとを訪ねて様々なキャリアの話を聞いてみてください。きっと皆さん喜んで受け入れてくれるはずです。